



## 廿屋の観音洞円空窟 (三和町・市指定史跡)

三和町の下廿屋公民館から約200メートル入っていった所に、洞くつがあります。この洞くつは観音洞円空窟と呼ばれ、江戸時代の僧侶・円空が修行した場所とされています。

「観音洞のふもとの道は武儀へ抜ける道で、円空さんは全国を遊行する途中、ここに立ち寄り、修行をしていったと言い伝えられています。円空さんがここを立ち去る時、1体の馬頭観音像を残していった。それを祭ったことから観音洞と呼ばれるようになったんだよ」と地域の人は話してくれました。

※「廻国・円空ー加茂をとおりてー」展

平成18年2月4日より、美濃加茂市民ミュージアムにて開催